

筑西市を魅力あるまちにしよう！

①筑西市のイメージは？…街全体に活気がなく暗い／老後と子育ての支援が弱い／公共施設の立地条件のアクセスが悪い／人が集まる様な魅力を持った場所が無い…ほか



②あなたが理想とするまちは？…医療介護の充実、独居老人ケア（おすわけ）／助け合いのできる街／医療福祉の充実、ネットワークの整備／商業複合施設があり、市外から集客できる、イベントができる…ほか



③理想のまちにするために何をすべきか、何ができるか…市民病院を利用する／行政事業に積極的に参加する（口うるさい市民になる）／坂の街「筑西」づくり／医療・福祉の役割整理と実行／市民一人ひとりが自覚を持って関心を持つ／ご近所の力…ほか



市民討議会の報告書を読むには？

報告書は、市ホームページ（行政→協働のまちづくり→市民討議会）又は市民協働課でご覧いただけます。

（社）下館青年会議所と筑西市との協働事業として10月25日に開催した「筑西市市民討議会2009」の報告会を12月13日アルテリオで行い、討議会の参加者から吉澤範夫市長に報告書が手渡されました。

「市民討議会」は、参加者を一般市民から無作為に選出し、その参加者が議論を行うことが特徴です。今回の討議会では、16歳以上の市民の中から2,000人に案内を送付。参加希望のあった34人のうち、当日都合のついた23人が討議会に参加しました。

10月25日の討議会では、『筑西市を魅力ある地域（まち）にしよう！』をメインテーマに意見が交わされました。実際には、参加者が4班に分かれ、3つの小テーマについて、約4時間をかけて討議。自らが積極的にまちづくりに係わりようとする意見が出されるなど、関心の高さがうかがわれました。

12月13日の報告会では、討議会の参加者が吉澤範夫市長に報告書を提出。報告書を受け取った市長は「みなさんの熱い気持ちが詰まった報告書をよく読ませていただき、今後のまちづくりに必ず生かしていきたい」とあいさつしました。

初めて行われた市民討議会でしたが、青年会議所の会員を中心とした実行委員の熱意と市民のみなさんの協力によって、「このまちを良くしたい」という「思い」を報告書にまとめることができました。

平成22年度も市民討議会を開催する予定です。

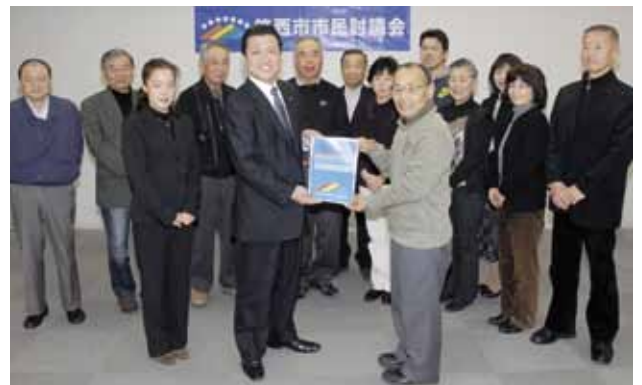


岩田ゆみさん（女方）
同じ想いの人たちと出会えたことに、熱いものが残っています。次回からはテーマを絞った討議会を望みたい。

Voice
参加者の声



瀬畑一徳さん（嘉家佐和）
口うるさい市民になりきることが大事な。筑西市の活性化のためにも、討議会をどんどん続けてくべきですね。



「討議会に出された熱い意見を市政に生かしてほしい」と討議会の参加者から吉澤範夫市長に報告書が提出されました。

問い合わせ 市民協働課 内線489

2月1日から 市内全域で防災行政無線の 本格運用がスタートします

市では、災害発生時の情報伝達手段の確保を最重要課題として位置づけ、平成19年度から3か年計画で市内全域での防災無線の整備を進めてきました。関城・明野・協和地区では従来から運用していましたが、機器の老朽化やアナログ方式であったことからデジタル方式への改修を行い、下館地区については未整備であったため、新設整備を進めてきました。

これらの整備が完了し、全域での本格運用が開始できることになりました。



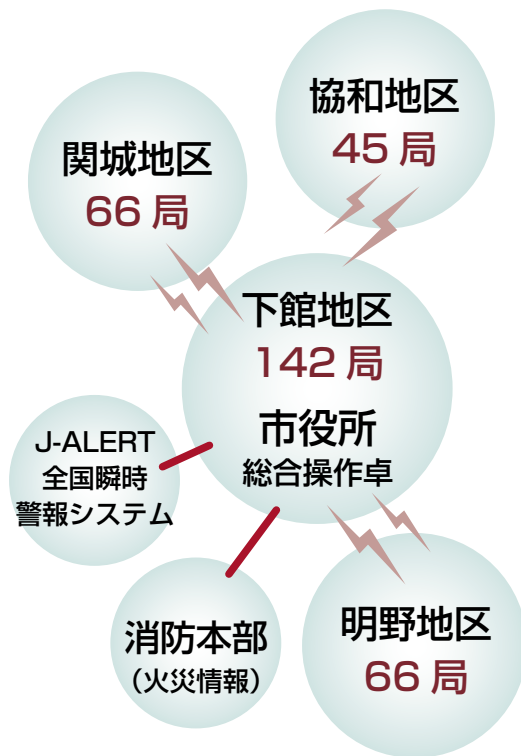
防災行政無線とは

防災行政無線とは、災害の発生が予想されるときや災害発生時などの緊急時に、避難勧告や災害関連の情報を市民のみなさんにお知らせします。また、平常時には行政情報などの周知や広報のために活用されます。

放送内容

- ⇒災害（水害・地震等）発生時の避難等情報
- ⇒火災発生時の消防団へに出動要請
- ⇒行方不明者等の捜査情報
- ⇒断水・停電・電話回線の停止
- ⇒正午及び夕刻の時報
- ⇒各種行政情報
- ⇒緊急地震速報（予測震度5弱以上）※
- ⇒気象情報※
- ⇒武力攻撃事態等情報※


※印は、全国瞬時警報システム（J-ALERT）による自動放送で、緊急地震速報や武力攻撃事態等情報など、対処する時間的余裕のない緊急情報を、通信衛星を介して国が放送を行います。



市役所の総合操作卓から災害時には、避難勧告や災害関連情報、平常時には行政情報などを放送します。



再応答サービス

 **0120-0296-99**
フリーダイヤル

防災行政無線で放送した内容の聞き漏れなどがあった場合、再度放送内容の確認ができます。（通話無料）

問い合わせ 消防防災課 内線369

安全安心のまちづくり